

折に触れ 四字熟語

NO. 259 〔砲煙弾雨〕 ほうえん だんう

< 意味 > 砲弾を撃ち合う激しい戦い。また、そのさま。

表 言 : 砲煙弾雨の中

用 例 : 砲煙弾雨の間に暮らした前半生も、社交と旅行とに費やした後半生も、実は皆人心の観察や解剖に捧げたのだ。<上田敏・うづまき>

語 釈 : 「砲煙」は大砲を撃つときに出る煙。「弾雨」は弾丸が雨のように盛んに飛んで来るさま。

一 言 : ウクライナとロシアとの戦争は、ウクライナ軍が反転攻勢に転じているとの報道ですが、ウクライナの大地はいまこの熟語通り砲煙弾雨となっていることでしょう。どうすれば、この世界から戦争がなくなるのか考えることしきりです。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」